

日本平和委員会発行

2006年1月15日 25日合併号付録

1950.12.16 第3種郵便物認可

郵便振替 01240-1-1713

E-mail heiwaoka@nifty.com

編集 岡山県平和委員会

〒700-0905

岡山市春日町 4-26 地方自治会館内

TEL 086-224-3787.FAX 086-224-3785

http://homepage2.nifty.com/heiwaoka/

平和新聞

岡山版

それだけではありません。この共同訓練を契機に日本原の駐屯地と演習場は日米地位協定の第2条4項 **む** の指定を受け、今後、この指定が解除されるまで年間約6週間を限度として米軍が使用することになりました。

規模です。

2月19日から3月3日まで、滋賀県饗庭野演習場と日本原の基地演習場を使って日米共同訓練が行われます。参加する部隊は日本側が第8普通科連隊 米子、アメリカ側が第4海兵師団第23連隊第2大隊 テキサス州ヒューストン予備役)で、各1個中隊

が、極めて重大なミスから申しあげなければなりません。

すでに新聞などで報道されたように、2006年の今年も、どうぞよろしくお願いたします。

松の内も過ぎて少し遅くなりましたが、極めて重大なミスから申しあげなければなりません。

会長 中尾元重

新年の挨拶

会員の皆さん。元気でめでたく、良い

正月をお迎えになられたと存じます。

生まれて43年の岡山県平和委員会も、深刻な事態にどのように立ち向かい、県民の平和を守りぬぐために貢献できる

岡山県は、戦後60年を経た今、日本国憲法の下で、郷土が海外侵略の足場になるかどうかの分岐点に立たされているといわなければなりません。

昨年10月、日米間で合意した米軍再編計画「日米同盟：未来のための変革と再編」は、日米同盟を地球的規模へ拡大するため、司令部機能の統合など日米軍事一体化を推し進め、新ガイドライン(2007年)の実効性を増大することを確認していますが、この中に「日米」双方は、相互運用性の向上、能力の向上、即応性の向上のため、共同訓練及び演習の機会を拡大し、日本における自衛隊及び米軍の訓練施設、区域の相互使用を増大することが盛り込まれています。日本原で起きた事態は、まさにこの合意の初の具体化といべきものです。

日本原基地演習場が地位協定2-4 **む** の適用を受けて米軍使用施設となり、日米共同訓練に使われるのは日本原の歴史上初めての事です。

昨年10月、日米間で合意した米軍再編計画「日米同盟：未来のための変革と再編」は、日米同盟を地球的規模へ拡大するため、司令部機能の統合など日米軍事一体化を推し進め、新ガイドライン(2007年)の実効性を増大することを確認していますが、この中に「日米」双方は、相互運用性の向上、能力の向上、即応性の向上のため、共同訓練及び演習の機会を拡大し、日本における自衛隊及び米軍の訓練施設、区域の相互使用を増大することが盛り込まれています。日本原で起きた事態は、まさにこの合意の初の具体化といべきものです。

昨年10月、日米間で合意した米軍再編計画「日米同盟：未来のための変革と再編」は、日米同盟を地球的規模へ拡大するため、司令部機能の統合など日米軍事一体化を推し進め、新ガイドライン(2007年)の実効性を増大することを確認していますが、この中に「日米」双方は、相互運用性の向上、能力の向上、即応性の向上のため、共同訓練及び演習の機会を拡大し、日本における自衛隊及び米軍の訓練施設、区域の相互使用を増大することが盛り込まれています。日本原で起きた事態は、まさにこの合意の初の具体化といべきものです。

昨年10月、日米間で合意した米軍再編計画「日米同盟：未来のための変革と再編」は、日米同盟を地球的規模へ拡大するため、司令部機能の統合など日米軍事一体化を推し進め、新ガイドライン(2007年)の実効性を増大することを確認していますが、この中に「日米」双方は、相互運用性の向上、能力の向上、即応性の向上のため、共同訓練及び演習の機会を拡大し、日本における自衛隊及び米軍の訓練施設、区域の相互使用を増大することが盛り込まれています。日本原で起きた事態は、まさにこの合意の初の具体化といべきものです。

昨年10月、日米間で合意した米軍再編計画「日米同盟：未来のための変革と再編」は、日米同盟を地球的規模へ拡大するため、司令部機能の統合など日米軍事一体化を推し進め、新ガイドライン(2007年)の実効性を増大することを確認していますが、この中に「日米」双方は、相互運用性の向上、能力の向上、即応性の向上のため、共同訓練及び演習の機会を拡大し、日本における自衛隊及び米軍の訓練施設、区域の相互使用を増大することが盛り込まれています。日本原で起きた事態は、まさにこの合意の初の具体化といべきものです。

取り組みましょう !!

1までに県内2万筆を目標に

タートしました。まずは 3世キニ

署名が1月1日からあたらしくス

「すみやかな核兵器廃絶のために」

お互いに健康に気をつけて、展望を持つがんばろうではありませんか。

すませるわけにはいかないでしょう。

ような情勢のもとさらに発展させないで、昨年、苦勞してピースエヅを成功させました。潜んでいたか見えなかった青年の力が、事に開花しました。そのエネルギーを、このいまこそ若い力に期待します。私たちは

な運動と世論を全県に広げましょう。の米軍基地化反対、日米共同訓練許すとしての自覚のもとに、憲法を守り、日本原

の。いま、その真価が問われています。

まず、正確な情勢把握が求められます。全県で米軍再編計画と自衛隊・日本原について学習を深めましょう。会員と

日本原に海兵隊がやってくる

米海兵隊は、2006年2月中旬から3月上旬にかけて岡山県の日本原演習場と滋賀県のあはれの演習場で自衛隊と日米共同訓練を行います。

訓練に参加するのは、陸上自衛隊第13旅団第8普通科連隊 米子と第4海兵師団第23連隊第1大隊（予備役）の各1個中隊です。

日本原演習場では今回初めて米軍と共同訓練が行われることとなります。

この共同訓練は自衛隊が米軍と一緒に海外で戦うための訓練です。



昨年新しく整備された基本射場

日本を守るためにつくられた自衛隊が海外に出て、米軍と一緒に外国に攻撃を加えることは、憲法に違反し日米安保条約や自衛隊法からも逸脱しています。

日本原が侵略のための

「オマケ」記事

防衛施設庁は、地元自治体の意見も聞かずに米軍が日本原演習場と駐屯地を毎年6週間程度使えるように指定したと一方的に通知してきました。演習場周辺の住民は、日本原での自衛隊の訓練については、使用協定を結んで仕方なく容認してきましたが、米軍が演習場を使うことに同意したわけではありません。

海兵隊がイラク戦争のような泥沼の戦争に出撃するための訓練に日本原演習場を使うということは、日本原が米軍の海外侵略のための訓練基地にされるということを意味しています。

また、日本原で自衛隊が海兵隊と一緒に訓練をするということは、自衛隊そのものが日本の防衛のための部隊から海外侵略のための軍隊に変質しようとしていることを意味しています。

ふるさとを侵略のための基地にしないために平和を愛する県民の総意で日米共同訓練を中止させましょう。

＜今後の主な予定＞

- ☆「空母艦載機部隊の岩国移転を問う」シンポジウム
1月28日(土)13:00～ シンフォニア岩国多目的ホール
- ☆「建国記念の日」を考える岡山県民集会
2月11日(土)13:00～ 岡山大学
- ☆岡山県平和委員会理事會
2月15日(水)18:30～ 地方自治会館3F
- ☆日米共同訓練反対日本原現地集會
2月26日(日)
- ☆「3・1ビキニデー集會」
2月27日(月)～3月1日(水) 静岡県



11月19日に行われた玉野市民平和のつどい、平和コンサートの様子

＜事務局より＞

会員のみなさんのご奮闘・あたたかいカンパで、年末の支払を滞りなくすませることができました。ありがとうございます。今年もよろしく願っています。年頭から大きなたかいの課題が山積しています。ご一緒にがんばりましょう。／ぜひ各地の取り組みの様子などをお知らせください。